

令和2年4月20日

江南市議会議長
稲山明敏様

議会改革特別委員会
委員長 野下達哉

令和元年度議会改革特別委員会報告書

本委員会は、令和元年5月20日の設置以降、「市民アンケート」、「意見交換会」などについて検討しましたので、その結果を別紙のとおり報告します。

令和元年度
議会改革特別委員会報告書

令和2年4月
議会改革特別委員会

今年度は、江南青年会議所との意見交換会、滝高生との懇談会、市民アンケートなどの取り組みを新たに実施した。

1. 経過

議会改革特別委員会において、委員長には野下達哉委員、副委員長に牧野圭佑委員を選出し、以降、12回にわたり委員会等を開催した。

2. 委員会等開催状況と協議内容

回	期 日	協 議 内 容
1	令和元年 5 月 20 日(月)	・ 正副委員長の互選について
2	令和元年 7 月 10 日(水)	・ 継続協議事項について ・ 市民と議会との意見交換会について (日時、場所、周知方法等について協議) ・ 市民アンケートについて
3	令和元年 8 月 19 日(月)	・ 市民アンケートについて (アンケート内容、実施方法について協議) ・ 市民と議会との意見交換会について ・ 議会の ICT に関する行政視察の受け入れについて ・ 常任委員会の行政視察における有料の視察先について
4	令和元年 9 月 24 日(火)	・ 市民と議会との意見交換会について (広報原稿、当日の準備・役割分担、チラシ、配布資料、団体との意見交換会について協議) ・ 市民アンケートについて (全戸配布した場合の経費、実施方法について協議)
5	令和元年 10 月 10 日(木)	・ 市民と議会との意見交換会について (配布資料、結果報告、団体との意見交換会について協議) ・ 市民アンケートについて (チラシ配布・アンケートの実施、実施場所の追加、結果報告について協議) ・ 行政視察の受け入れについて

回	期 日	協 議 内 容
6	令和元年12月19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と議会との意見交換会について (アンケートの結果確認、団体との意見交換会、広報こうなん編集作業について協議) ・議会改革特別委員会研修会について ・市民アンケートについて (集計結果について協議)
7	令和2年1月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と議会との意見交換会について (江南青年会議所との意見交換会の役割分担、テーマ、滝学園との懇談会の参加者、テーマについて協議) ・市民アンケートについて ・市議会の災害対応について
8	令和2年1月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・江南青年会議所との意見交換会について (テーマ、実施方法について協議)
9	令和2年4月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度議会改革特別委員会報告書(案)について

期 日	内 容
令和元年11月13日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政視察の受け入れ 福岡県田川市議会 調査事項：議会改革の取り組みについて
令和元年12月25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 議会改革特別委員会研修会 「公職選挙法(寄附の禁止)について」 講師 弁護士 金岡宏樹氏
令和2年1月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政視察の受け入れ 兵庫県宝塚市議会 調査事項：広報広聴について

3. 活動概要

【1】市民と議会との意見交換会について

(1) 運営方法について

- ・開催場所、開催日時を各常任委員会で同一で行う。
令和元年11月10日(日)午後7時～8時30分(開場 午後6時30分)
江南市民文化会館
- ・全体会と分科会の2部構成で行う。
〔全体会〕午後7時～午後7時20分
第1会議室

〔分科会〕 午後 7 時 20 分～午後 8 時 30 分

参加人数 60 人

厚生文教委員会・・・第 1 会議室 参加人数：22 人

総務委員会・・・・・・第 2 会議室 参加人数：12 人

建設産業委員会・・・美術工芸室 参加人数：30 人

※ 1 人の方が複数の分科会に参加している場合があります。

- ・ 全体会の司会は副議長、挨拶は議長、当日の流れ等の説明は議会改革特別委員長が行い、終了後に分科会を行う。
- ・ 分科会の司会は副委員長、挨拶は委員長が行う。
- ・ 分科会ではテーマを決めて行い、テーマについての意見交換を行った後に、フリートーク形式での時間を設けた。

厚生文教委員会・・・図書館について

高齢者福祉について

フリートーク

総務委員会・・・・・・マイナンバーカードの普及について

プールの民間活用について

公共施設の再配置について

フリートーク

建設産業委員会・・・公共交通について

すいとぴあ江南について

都市計画道路について

フリートーク

- ・ 撮影についての説明を全体会で行う。また、当日配布資料にも撮影についての説明を記載した。
- ・ 答弁は、簡潔明瞭に行う。
- ・ 発言時には町名と氏名を告げていただく。

(2) 啓発について

- ・ 会議開催予定の各種団体にはチラシを配布する。
- ・ 区・町内掲示板へのポスターを作成する。
- ・ 開催案内地区回覧チラシを作成する。
- ・ 近隣市議会、報道機関にチラシを送付する。
- ・ 市民アンケート実施会場にてチラシを配布する。

(3) 当日配布資料

- ・ レジュメ（撮影のお願い、各常任委員会の資料）
- ・ アンケート用紙

受け付けの際に配布し、終了後に回収する。

集計は各常任委員会が行う。

(4) 結果の公表

- ・昨年度同様、開催後の報告やアンケートの結果は、広報こうなん及び市議会ホームページに掲載する。
- ・意見交換会での質問や回答等の当日のまとめ（広報こうなん掲載原稿）は、各常任委員会正副委員長に作成を依頼する。
- ・結果は広報こうなん 11 月号に掲載する。

(5) 市民から出された意見に対する対応について

- ・市民から意見や要望があったものについて、定例会等で取り上げた。
- ・定例会等で取り上げた対応結果を各正副委員長で原稿を取りまとめの上、広報こうなん 4 月号に掲載予定とする。

【2】 江南青年会議所と議会との意見交換会について

(1) 運営方法について

- ・令和 2 年 2 月 4 日（火）午後 7 時～9 時
老人福祉センター 実習室
参加人数：江南青年会議所 14 人、議員 16 人
- ・司会及び当日の流れ等の説明は掛布議員、挨拶は議会改革特別委員長が行い、終了後に常任委員会ごとに 3 つのグループに分かれて意見交換を行う。
- ・各グループの司会は、各常任委員会の委員長が行う。
- ・各グループでは、用意されたテーマから自由に選んで意見交換を行う。
- ・撮影についての説明を行う。
- ・午後 8 時 40 分まで意見交換を行い、その後各グループが話し合った内容について発表をする。

(2) テーマについて

江南青年会議所からのテーマ

- ・財源の割り振りについて
- ・人材育成について
企業の人材研修への支援について
J C 青年の船とうかい号への市職員の参加支援について
- ・市を PR して江南に人を呼べる仕組みを、市・各種団体協働でつくれるか
- ・宿泊施設が少ないがどの様に考えているのか
- ・保育園の入園希望者の増加により、近所の園に通えない場合がある
また、兄弟で別の園に通う事もあるが、その対策はどうなっているのか

市議会からのテーマ

- ・江南青年会議所として市へ要望書を提出してはどうか
- ・企業としてどういう補助金を使用しているか

- ・江南青年会議所の仕事の目的を若者へどのようにプレゼンテーションしているか

(3) 当日配布資料

- ・レジュメ（テーマを記載）
- ・テーマごとの資料

(4) 結果の公表

- ・実施したことを、広報こうなん4月号に掲載する。
- ・意見交換会のまとめ（広報こうなん掲載原稿）は、グループごとに作成する。
- ・尾北ホームニュースに写真と原稿を提供し、記事を掲載した。

【3】滝高生との懇談会について

(1) 運営方法について

- ・令和2年2月14日（金）午後3時30分～5時
滝高等学校
参加人数：滝高生11人、議員10人
- ・テーマを決めて懇談会を行う。
- ・滝高等学校の依頼で、中日新聞が取材を行い、記事を掲載する。

(2) 当日配布資料

- ・レジュメ
- ・資料

(3) 結果の公表

- ・実施したことを、広報こうなん4月号に掲載する。
- ・懇談会のまとめ（広報こうなん掲載原稿）を作成する。

【4】市民アンケートについて

(1) 実施方法について

議員が市主催のイベント等で、市民に直接アンケート内容の説明及び回答の聞き取りを行い、手持ちの集計用紙に回答を書く形式で実施した。

(2) 実施結果

日にち	イベント名	回答者数
令和元年10月6日（日）	布袋ぶらりん日和	80人
10月13日（日）	健康フェスティバル ふくし江南ふれあいまつり	145人
10月20日（日）	総合防災訓練	52人

10月27日(日)	消防観閲式	36人
11月3日(日)	自主防災会合同訓練	87人
11月17日(日)	環境フェスタ 消費生活展	161人
	合計	561人

【5】協議事項と結果について

(1) 市民アンケートについて

市長及び市議会議員選挙の投票率の低下に伴い、市民の方が、市議会にどの程度関心を持っているのか、また、どのように考えているのかを調査して、今後の議員活動に活かしていきたい意向から、市民アンケートの実施について協議した。

実施方法として、無作為での抽出やアンケート用紙の全戸配布、広報「こうなん」への折り込みについては、郵送料や印刷費、折り込み手数料等の予算がないため、実施を見送ることとした。

市主催の各種イベント等に議員が出向き、市民と対面する形でアンケート内容の説明及び回答の聞き取りを行い、聞き取った回答を議員が手持ちの集計用紙に書く形式で実施した。

今回の市民アンケートは、無作為かつ相当数の市民にアンケートを依頼するという形ではないため、回答を得た人数や年齢などに偏りが見られ信憑性に欠けるものとなった。

アンケート結果はタブレット端末に配信し、全議員に共有した。

(2) 議会のICTに関する行政視察の受け入れについて

他市町村からの行政視察を行き入れる際の委員会の体制について協議した。

タブレット端末の導入経緯などの概要説明については委員長が、具体的な予算や導入に必要な事務的な内容、事務局の役割等の説明については事務局が行うこととした。

なお、他の委員については、都合がつく委員には出席をお願いし、タブレット端末の操作方法については、詳しい委員で対応することとした。

(3) 常任委員会の行政視察における有料の視察先について

常任委員会の行政視察における、視察手数料について協議した。

議会費において、常任委員会の行政視察時の視察手数料は計上しておらず、旅費からの支出もできないため、視察手数料が必要な市町村へも視察に行けるようにできないかとの提案があった。予算の流用や各委員会の積み立て金から支出ができないか、随行の事務局職員分をどうするか等を検討した結果、翌年度の議会費に視察手数料を計上することとした。

(4) 研修会について

公職選挙法（寄附の禁止）について、改めて学び、今後の活動の参考とするため、弁護士の金岡宏樹氏を講師として招き、研修会を行った。

(5) 市議会の災害対応について

災害が起こった際の、市議会としての具体的な対応内容を検討してはどうかについて協議した。

既に「市議会災害対策本部設置要綱」があるが実効性があるのか、議員の安否確認の方法や市議会のBCP（事業継続計画）を検討する必要がある等の意見があり、「市議会災害対策本部設置要綱」をタブレット端末に配信し全議員に共有するとともに、協議を続けていくこととした。

(6) 意見交換会について

来年度の会場借上料を2回分計上した。

また、他の団体との意見交換会についても、今後、実施を検討する。

【6】行政視察の受け入れについて

・福岡県田川市議会

令和元年11月13日（水）午後2時

議会運営委員会 6名

「議会改革の取り組みについて」

・兵庫県宝塚市議会

令和2年1月27日（月）午後1時

広報公聴委員会 6名

「広報広聴について」

議会改革特別委員会委員名簿

区 分	氏 名
委 員 長	野 下 達 哉
副 委 員 長	牧 野 圭 佑
委 員	掛 布 ま ち 子
委 員	中 野 裕 二
委 員	東 猴 史 紘
委 員	大 藪 豊 数
委 員	田 村 徳 周
計	7人

オブザーバー

区 分	氏 名
議 長	稲 山 明 敏
副 議 長	伊 藤 吉 弘